

## 日本小児泌尿器科学会（2023年） 優秀論文賞 学会誌部門

### 新生児集中治療室における尿路感染症の臨床的検討

権田 裕亮（順天堂大学医学部附属浦安病院 小児科）



この度はこのような名誉ある日本小児泌尿器科学会の論文賞をいただきまして、誠に有難うございました。

本論文は、小児科医としてNICU・GCU病棟で働く中で、ごく稀に尿路感染症を発症する患者がおり、一般的な乳児発熱で診断される有熱性尿路感染症と患者背景が異なるのではという疑問から、自施設でのNICU・GCU病棟でのUTIの発症率を調べたことがきっかけでした。小児科医ですが、本論文が小児泌尿器科の先生にご評価を頂けたことは大変嬉しくあり、自信にもなりました。

順天堂大学の特徴として、日頃より小児外科の先生との距離が近く、先天性腎尿路疾患の患者と一緒に診療することができています。今回このような名誉ある賞を頂いたのは、順天堂大学浦安病院小児外科の岡崎任晴先生、宮野剛先生をはじめとする小児外科の先生のおかげと考えています。また、本論文の指導を頂いた西崎直人先生にも、この場を借りて深く御礼を申し上げます。

私が所属する順天堂大学小児科腎臓班では、普段からなかなか情報交換ができない小児泌尿器科の先生の貴重なご意見を伺う場として、積極的に本学会の発表や論文投稿を行なっています。今後も本学会の先生から沢山のご指導を頂けたらと考えていますので、引き続きご指導のほど宜しくお願い致します。